

第1回安芸地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日 時：平成22年9月9日（木）14:00～16:30

場 所：安芸広域メルトセンター

1 議事等

(1) 全体スケジュール等について

- ・22年度の年間スケジュールを説明

(2) 地域アクションプランについて

1) H22年度の取組みの進捗状況について

- ・特に動きがあった項目及び計画どおり進捗していない項目について説明
- ・全体としては、概ね計画どおり進捗している旨を説明

2) 修正・追加等の案件について

- ・項目の修正及び22年度の追加項目について説明
- ・修正、追加項目が承認される。

(3) 旅づくり塾DVD上映

(4) 産業成長戦略について

1) H22年度の取組みの進捗状況について

- ・アンテナショップ「まるごと高知」の状況について説明
- ・ポスト龍馬博の推進について説明

(5) その他

- ・ふるさと雇用再生特別基金事業の活用について説明

【意見交換】

- ・ユズ茶のラインの新設を計画。産振補助金の採択を受け、10月の終わりぐらいには機械設備が完成予定。韓国からブームのように日本に入ってきたユズ茶が日本に定着し、秋口から冬にかけては、生産がおいつかない状況。産業振興計画の中で対象となり、新たなチャンスとなった。
- ・今年は「龍馬伝」ということで、1月には北川村の慎太郎館がリニューアルオープンした。例年の5倍近い集客がある。「龍馬伝」が終わっても、このブームを維持したいと考えている。そのために、色々なイベントも考えていきたい。
- ・ジオパークが近々動きだす。9月に世界申請の候補の審査、決定がなされる。
- ・地域資源を生かした交流人口の拡大ということで、世界ジオパークに取り組んでいる。8月の候補地現地調査では、「地域の住民の方々がこのジオパークの取組みをよく知り、協力している仕組みが生まれてきている。」ということで評価もいただいた。ジオガイド養成の内容をもう少し充実をさせる必要がある。
現地視察の時に、「全体のストーリーと個々の素材のストーリーを関連づけて説明しないと分かりづらい。」というようなご指摘などもいただいた。

- ・国内で現在、ジオパーク認定を受けているところがいくつあるのか。また、現在、国内に候補地がいくつぐらいあって、どういう取り組みをしているのかを教えてください。
- 日本ジオパーク認定を受けているのが国内で11カ所、その中で世界認証を受けているのが洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島。去年、審査を受けているのが山陰海岸。今年は室戸と阿蘇山の二つが世界ジオパーク申請をするということで、いずれが国内での候補地に選ばれるかといったところ。
- ・追加の案件の中で、酒粕を活用した新商品の開発の説明では、事業主体は民間ということだが、その見通しは。また、酒粕の供給体制はどうか。
- 安田町の1企業と、田野町の1企業者が手を挙げてくれている。非常に前向きな考えで進行している。
- ・「龍馬伝」の好景気で、岩崎弥太郎の生家に今16万人超の観光客が来ている。サテライトも8万人を超えている。これは「龍馬伝」景気で2年、3年と続くことはないと思う。やはりリピーターになってくれる方々へのおもてなしなど、対応していかなければならないと思う。
- ・安芸市は、西の窓口になるので、地域の産業を観光に結びつけて紹介できるようなことになれば、観光客に対して、東部の情報発信のサービスになると思う。東部地域全体で情報を共有しながら、それをどのように観光客へ発信するか、伝えるかということをごさんと一緒に考えていきたいと思う。
- ・地域アクションプランについて2点。1点目はジオパーク、大変整備されていて、国内の候補となると確信している。2点目は、モネの庭、国内に、モネの庭と言われるところは一つしかなく、世界には二つしかない。モネの庭を知らない方がたくさんいると思う。アクションプランにのって、これから整備をされ、県外の方等に知ってもらい、東部地域へ来てもらったら、地域も活性化すると思う。
- ・ナスの加工については、なかなか事業主体も定まっていない。どのようにこれから変革していったらいいのか。日本一のナスなので、何とかこれを加工できるように、JAだけでなく、他のところを巻き込んで、方向も探っていけたらいいのではないかと思う
- ナスの加工の件については、話は聞いている。中味を議論して、支援する手法にどのようなものがあるか、考えさせていきたい。
- ・東部地域が一緒になって協力し合って、修学旅行生の受け入れ態勢をパンフレット等にできたらと思う。「龍馬伝」の関係もあって、ごめんなはり線の奈半利駅の方へも県外からお客さんが来たように思うが、その時、室戸まではどれぐらいかかるのか。バスは1時間に1本しかないのかという問い合わせがある。また、北川には慎太郎館だけしかないのかという言葉をよく耳にする。終着・始発駅の奈半利駅にPRできる看板等があればいいと思う。
- ・安芸地域のアクションプランのこれまでの進捗状況、また修正・追加について、説明をいただいたが、これについて、承認をしていただけるかどうかを確認したいと思う。進捗状況については、概ね実施計画どおり、修正・追加については提案どおり、承認していただけるか。
- 異議なし。

<成長戦略、ふるさと雇用について説明>

【意見交換】

- ・お遍路さんは、各ホテルなどにおいては非常に大切な対象になる。高知県においては、たくさんの方が土佐路に来てくれるように、いろいろサービス面で考えていかなければならない。世界遺産の運動は県民が押し上げていくということも必要。巡礼も、観光事業にとっては非常に欠かせない要素だと思う。
- お遍路さんの件は、四国全体に関わることであり、四国全体として取り組んでいる。